

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			・多機能事業所の利点を活かし、複数の部屋やスペースを活動内容や利用児童の学齢構成等に応じて活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			・正規職員のみを配置している。活動内容や状況に応じて、成人事業所の職員や運動等の支援専門職員の配置も行い、活動の充実と安全配慮を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	2	・福祉施設の為の建物ではなく改築の為、一部バリアフリー化困難箇所あり。 ・館内に一部バリアフリー対応が難しい部分がある為、対象者に合わせて検証を行っています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			・法人ホームページに公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4			・法人として第三者評価を実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・法人内で階層別、目的別研修を実施。 ・法人内研修、外部研修の他に放課後等デイサービスとしての勉強会も実施し、支援力や理解の向上に努めている。
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・放課後等デイサービスガイドラインの4領域に沿った支援計画を作成。 ・放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・交代制で週間プログラムを作成し、チームで内容を検討し共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・「静」「動」の活動を織り交ぜた週間プログラムを作成し児童のニーズも取り入れた内容の工夫等を行っている。 ・活動の週間プログラムを職員が交代で設定し、実際の活動リーダーを設定した職員以外の職員も担当することで固定化しない工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		・課題への取り組み等提供する内容が固定化しないよう利用児の特性を踏まえた課題の提供等の工夫をしている。 ・長期休暇等の日中支援は成人事業所との合同活動を積極的に設定しています。

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前のミーティングで利用児情報や家族、学校からの共有事項を確認しています。 ・活動内容を事前にスタッフ間で共有している。 ・活動実施案を作成し安全面も含め支援できるよう配慮している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング、毎月の会議で実施。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4		・美術、運動、音楽の支援専門スタッフと協力して個々に合わせた活動を実施している。 ・支援専門スタッフの協力を得ながら支援の質の向上に努めている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4		・保護者了承の下、学校との情報共有、連携支援等、積極的に行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	・ハード面、ソフト面的に医ケア児の受け入れを現在は想定していない。 ・現在、医ケア児の受け入れはしていないが、医療面で留意が必要な児童は、法人の医務と連携を取りながら安全な支援に努めている。 ・医ケア児の受け入れ実績はないが、通所児童の医療面健康面は、家族、学校、法人医務、(主治医からの指示情報は家族を通じて)と連携し、情報共有している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		・コロナ禍以前は、研修や見学会等を通じて情報共有、相互理解を実践していた。感染症が落ち着き見学会等再開後参加予定。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4			・必要に応じて対応している。 ・本人、家族の承諾の下、要請に応じて実施。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	2	・コロナ禍以前は地域交流として地域住民を事業所に招き、その中で児童と接することのできる「にじアート夏祭り」を開催していたが、この3年程は感染リスクを考慮し未実施。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2	・情報共有しながら支援方法を確認しているが、ペアレントトレーニングまでには至っていない。 ・必要に応じて、個別の相談に対応している。

保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約時に実施。 ・感染症対策等必要に応じて書面を配付している。行事やイベント等のイレギュラーな活動に伴う利用児負担額等も連絡帳を通じてお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> ・法人の医療相談等も行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・以前は行っていたがコロナ禍で開催できていない。感染状況が落ち着いたら開催予定。

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・重要事項説明書にて苦情相談について説明を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・月1回「デイだより」を発行。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2		・コロナ禍以前は地域交流として地域住民を事業所に招き活動体験等の行事を実施していたが、この3年程は感染リスクを考慮し未実施。 ・コロナ禍以前は夏祭りや活動体験交流会等を行っていた。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3		・防災、感染症BCPは策定済。室内外に防犯カメラを設置し対策しているが、防犯マニュアルの策定には至っていない。 ・マニュアルはあるが、保護者への周知が不十分な部分がある為、今後周知方法等を改善していきたい。 ・保護者と体調不良時の対応マニュアルを共有。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・職員向け、利用者参加型の双方を実施している。 ・職員訓練、利用児を交えた訓練、成人利用者との合同訓練を順次定期的の実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・虐待防止マニュアルや人権について話し合う場を設けて権利擁護の意識の向上が図れるよう努めている。 ・定期的に人権、権利擁護の研修と虐待防止マニュアルに基づくセルフチェックを実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・重要事項説明書にて説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			・保護者を通じて定期的に主治医からの指示を共有。 ・調理活動は事前に材料等を伝え安全確認の上実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			